

# TALK AND TRY

- 日程：  
2016年7月16日（土）
- 時間：  
13:30~16:30
- 場所：  
安城市民交流センター  
2階多目的ホール
- 参加者：48名

平成29年6月にオープンする中心市街地拠点施設、愛称「アンフォーレ」。昨年度はこの施設の使い方やコンセプトを考えるワークショップ「TALK AND TALK」(全6回)を行いました。今年は「TALK AND TRY」というタイトルに変わり、施設でやってみたいことをまちなかで実行=TRYしていきます。



## プログラム

1. はじめに
2. 安城市図書館ミニ講座
3. 事例紹介／福井きちづくりプロジェクト
4. ブレイクタイム
5. ワーク
6. おわりに

## 1 はじめに



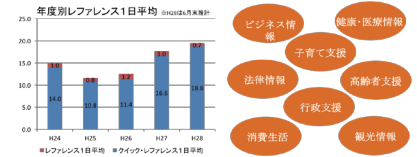
今回のワークショップでは、8月20日（土）のミニ社会実験「プレTRY AND TRY」に向けた作戦会議を行います。いよいよ始まる実践に備えて、企画内容や役割分担をしっかりと話し合いましょう。

## 2 安城市図書館ミニ講座（岡田館長）

図書館にはレファレンスという課題解決支援サービスがあります。何かわからないことを司書に相談していただければ、解決策につながるヒントをお伝えできます。安城市の図書館では1日平均20件、年間約5800件のレファレンス利用があります。また、全国の事例を蓄積した国会図書館の「レファレンス協同データベース」に、安城市は平成27年に1311点の事例を登録しました。生活のいろいろな場面で、図書館のレファレンスを活用してください。

### 資料相談【レファレンス】って何!?

～資料や情報を的確・迅速に提供し、課題解決を支援～  
★図書館での「課題解決支援サービス」が増加傾向★



図書館は、市民の「課題解決」を支援する施設です。  
レファレンス件数は年々増加、1日20件・年間5,800件超

## 3 事例紹介／福井きちづくりプロジェクト（studio-L 醍醐さん）

JR福井駅の西口エリア再開発を機に、このエリアにある商店街に住む市民と共にまちなかの活用を考えた事例です。ワークショップを重ねる中で、空き店舗を使って基地をつくりたいという意見が出ました。そして参加者が持つ空き店舗を借りて、「きちづくり福井会社」と名づけて実験開始。店舗の前にある小さな路地を使い、食べものを持ち寄って会議を開きました。そこから、色んな店舗にお奨めの本を置き、しおりを介して連絡先を交換できる「タビスル文庫」などの活動が生まれました。またクラウドファンディングを成功させ、「福井人」という冊子も発刊。ワークショップがきっかけでUターンを決意した若者も現れました。福井の人たちの特徴は、小さな新しい取り組みを実験しながら、自分たちも楽しんでいくこと。少し挑戦することで楽しみが増し、それが共感の輪を広げます。これから始まる社会実験でもぜひ、小さな挑戦を楽しんでほしいと思います。



## 4 ブレイクタイム／輪ゴムゲーム

机の上に置かれたコップやお皿に、より多くの輪ゴムを入れるゲームです。最初は作戦なしで行い、2回目は作戦を練ったうえで行います。そうするといろいろな方法があることに気づき、全チームが全ての輪ゴムを的に入れました。今後の社会実験でも、作戦を練りながら進めることを大切にしてほしいと思います。



## 5 ワーク

各自が持参した事例を共有した後、8月20日（土）に実施するプログラムのウリと目的、ターゲット（対象となる人）と内容について話し合いました。また、具体的な役割分担と準備物についても話し合いました。

### かふえ・スタディアン



- ウリ** 毎回講師をかえて多岐に渡るテーマが学べます。
- 目的** 学ぶ楽しさの再発見。カフェのような雰囲気づくり。
- 対象** 学びたい人は誰でも。
- 概要** 身近なものについて学ぶ。例えば以下のような内容。  
・味噌、醤油、米花  
・電子レンジの仕組み  
かふえの雰囲気気軽に学ぶ。

### おしゃピク



- ウリ** おしゃれさ、自由な空間、アート、交流。
- 目的** 参加した人が幸せを感じる。豊かさを感じる。
- 対象** 自然な会話を楽しみたい人。若者。
- 概要** おしゃれをテーマに若い人やいろんな人が集まって自然に会話ができる場づくりを目指す。街角にあるようなアート作品を並べる。また、おしゃれなアートづくりを体験した後に語る場を設ける、など。

## おせんべいカフェ



- ウリ** 世代間交流ができる。
- 目的** 企画を見つける活動拠点になる。
- 対象** 就職支援が必要な若者、障害をもつ人。

**概要** 初対面同士が社会テーマを持ち寄って話し合い、活動に発展させるための最初の拠点。  
書籍を並べ、感想をホワイトボードに書き残し、今後の連絡を取り合うきっかけとする。  
参加者自らが進行役になる対話型カフェ。

## アンフォーレで”ほっとたいむ”



- ウリ** 誰でも気軽に参加できるスポーツ。
- 目的** 運動を通じて交流を生み出す。
- 対象** どなたでもOK、特に日頃運動から縁遠い人。

**概要** 10~12人程度を対象として、スポーツ吹き矢を実施する。1人5分程度の運動。  
スポーツ吹き矢は腹式呼吸が鍛えられるとともに、体幹を整える効果がある。  
吹き矢の消毒代として、参加費50円/人とする。

## やっぱり本が好き！



- ウリ** 誰もが手軽に参加可能。飲みながら楽しめる。
- 目的** みんなで楽しむこと、仲間を増やすこと。
- 対象** 本が好き、お話が好き、お酒が好きな人。

**概要** 「30分読書会兼ライブラリーバー」。  
お酒をのみながら、夏目漱石の夢十夜をみんなで読んで語り合う。  
ホワイトボードor模造紙に記録を残すので、後でも楽しむことができる。

## 南吉作品に親しむ



- ウリ** 楽しい南吉作品を知れる、聴き手と交流できる。
- 目的** 今に生きる新美南吉作品をアピールする。
- 対象** 若い方々。

**概要** 「故郷」を歌い、詩「合唱」を朗読する。  
そのほか、楽しい南吉作品を朗読する。  
(でんでんむし、こぞうさんのおきょう、など)  
聴き手と一緒に「牛」を朗読する。

## 伝統食を伝承していこうチーム



- ウリ** 試食体験で得た知識、感じたことを共有できる。
- 目的** 郷土食を見て食べて五感で感じて知ってもらおう。
- 対象** 若い世代のお母さんと子ども。

**概要** 紙芝居を読み、郷土食(伝統食)の歴史を知ってもらおう。  
伝統食の箱寿司を箱から出し切り分けるところから皆様に見てもらおう。盛り付け方も見ってもらおう。  
・エピソード・紙芝居(10分)  
・箱ずしを切り分けて試食(20分)

## 偉人になりきろう



- ウリ** 安城の誇りを育む心作りをする「エコで仮装」。
- 目的** 偉人を想像してみる(安城市の理解へ繋がる)。
- 対象** 岡田菊次郎を名前だけでも知っている人。

**概要** 安城市の偉人を知ること、安城市が好きになる人を増やす。アンフォーレができれば継続的に講座などを行いたい。  
8月20日は生誕150年になる岡田菊次郎をテーマにする。岡田菊次郎になりきれる装いを考える。

## マルシェチーム



- ウリ** お寺もにぎわう和風なマルシェ
- 目的** 笑顔になってもらう。マルシェのニーズを知る。
- 対象** 県内外・性別・年齢問わず、色んな人。
- 概要** 9月にお寺でマルシェを予定しているので、8月はマルシェのニーズを知るためのテストをする。アロマやお香がたかかれている中で、マッサージをうけたり、木のおもちゃを組み立てたりする。アンケートもとる。

## パパママ幸せ実行委員会



- ウリ** 様々な年代の方が童心にかえり、交流を楽しめる。
- 目的** パパ・ママ・子どもたちの幸せ体験。
- 対象** 子どもからおじいさん、おばあさんまで全ての方々。
- 概要** アンフォーレ全てのゾーンを使うくらいのフェスタのミニミニ体験版。いろんな世代の方に参加してもらい、学びを深めることができるようにしたい。  
・パステルアートと写真のコラボレーション体験  
・ヨガ&ツボ&お灸の健康体験

## 情報発信



- ウリ** 各チームのメッセージと皆さんからの感想を集める。
- 目的** 参加者同士で各チームの企画をより知ってもらう。
- 対象** TALK AND TRY参加者全員。
- 概要** スマホで各チームプログラムを撮影し、Facebookにアップする。準備作業もアップする  
とんでもなく大きいQRコードの壁紙をつくり、宣伝する。いつかはQRコードTシャツをつくりたい。  
各チームのメッセージ入り写真を撮って印刷する。

## 講評 (studio-L 醍醐さん)



社会実験では成功するとわかっていることよりも、失敗するかもしれないことを実験することが大切です。各プログラムは楽しくなりそうなので、小さな挑戦を意識すればさらに楽しくなります。その先で、チーム同士のコラボレーションも生まれそうだと思います。例えば、朗読イベントをアロマを用いながら開催するなど。岡田菊次郎をみんなで勉強するのもいいでしょう。安城市を深く知る機会になります。

また、Facebookをやっていない人は、この機会にぜひ始めてみてください。来年春以降は、皆さん自身が情報発信の主体になるはず。情報発信チームにまかせるのではなく、彼らからうまい方法を学びながら練習しましょう。

## ふりかえりアンケート (抜粋)

実現に向けて少しずつ動いていると感じて、とてもワクワクしている。話しあうことにより、色々な視点を知ることができた。

「誰もやっていない、どこにもないようなこと」という言葉が印象に残りました。

これまでは本当にできるのかなーという感じでしたが、今回はできそう！という感じになりました。

## 今後の予定

- 9/10 (土) 「TRY AND TRY」作戦会議
- 9月中に企画づくり
- 10/9 (日) 「TRY AND TRY」決起集会
- ↓
- 10月以降 「TRY AND TRY」を順次まちなかで展開

※「TRY AND TRY」とは：アンフォーレのオープンに向けて、各チームのプログラムをまちなかで実験する取り組みです。

## 次回のご案内

2016年8月20日(土)

時間：13:30～16:30

場所：安城市民交流センター 2階多目的ホール

<問い合わせ>

安城市中央図書館まちなか連携係  
TEL 0566-76-1400  
URL <http://www.city.anjo.aichi.jp/kurasu/machidukuri/nigiwai-project.html>



2005年設立。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくりなどに携わる。<http://www.stuio-l.org>